



海上自衛隊 防衛技官 採用案内

各地区窓口

【東北地区】

海上自衛隊 大湊地方総監部 管理部 人事課 職員人事管理室
〒035-0093 青森県むつ市大湊町4-1
TEL:0175-24-1111(代表) 内線:2317

【関東・甲信越地区】

海上自衛隊 横須賀地方総監部 管理部 人事課 職員人事管理室
〒238-0046 神奈川県横須賀市西逸見町一丁目無番地
TEL:0468-22-3500(代表) 内線:2309

【近畿地区】

海上自衛隊 舞鶴地方総監部 管理部 人事課 職員人事管理室
〒625-8510 京都府舞鶴市余部下1190
TEL:0773-62-2250(代表) 内線:2494

【中国・四国地区】

海上自衛隊 呉地方総監部 管理部 人事課 職員人事管理室
〒737-8554 広島県呉市幸町8-1
TEL:0823-22-5511(代表) 内線:2849

【九州地区】

海上自衛隊 佐世保地方総監部 管理部 人事課 職員人事管理室
〒857-8567 長崎県佐世保市平瀬町18
TEL:0956-23-7111(代表) 内線:3591

総括窓口

防衛省 海上幕僚監部
人事教育部 補任課 職員人事管理室

住所 〒162-0083 東京都新宿区市谷本村町 5-1

TEL **03-3268-3111** (代表) 内線:50354

MAIL kaijisaiyou@ext.mso.mod.go.jp



採用案内 海上自衛隊 防衛技官

業務説明会



海上自衛隊HP



海上自衛隊で勤務する
事務官・技官・語学職の動画



海上自衛隊の防衛技官が担当する主な装備



海上自衛隊では多くの防衛技官が活躍しています。

世界有数の海上防衛力を有する海上自衛隊では、艦船・航空機とともに港湾施設や滑走路など、特殊な装備品や施設を多数保有しており、これらの装備品や施設の取得・維持・管理を約1,200名の防衛技官が技術的専門知識を活かして支えています。

我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、「我が国の領域及び周辺海域の防衛」「海上交通の安全確保」「望ましい安全保障環境の構築」実現のため、防衛技官の活躍は必要不可欠なものとなっています。



船体



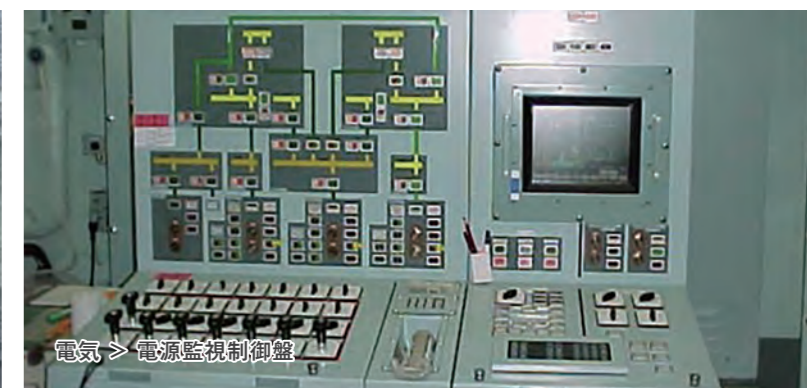
機関 > 機関の操作盤



機関 > 機械室内の機器等



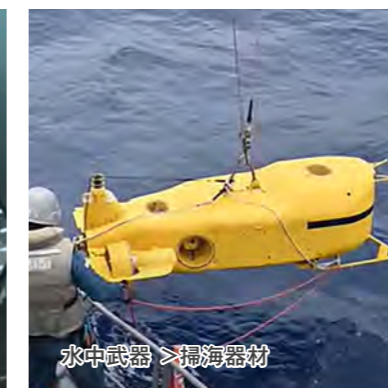
誘導武器 > 砲



電気 > 電源監視制御盤



水中武器 > ジャイロコンパス



水中武器 > 掃海器材



水中武器 > アスロックランチャー



通信電子 > レーダー、通信器材



航空機 > 機体、電子機器、搭載武器等



施設 > 航空施設



施設 > 係留施設

海上自衛隊防衛技官の業務

海上自衛隊の諸活動を技術分野で支えます。

海上自衛隊の諸活動を円滑に実施するためには、活動経費の予算要求業務や艦船や航空機などの調達・部品の管理業務、それらの修理や整備計画の立案業務など、多種多様な業務があります。

これら海上自衛隊の諸活動を技術分野で支えるのが、防衛技官の役割です。

艦船

採用区分	国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験) ▶デジタル・電気・電子／機械 国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験) ▶技術(電気・情報系、機械系)
------	---



「国民を守る船」は、私たちが守る。

艦船の技官は、主に艦船の航行に関する機器の調達・整備の手続き、監督・検査、予算要求、施策の立案等を担当します。海自の艦船は単に装備品というだけでなく、移動手段、オフィス、生活空間でもあり、船体やエンジンといった「船」としての性能を発揮するもの。他、ベッド、浴室、調理器具、医療機器、艦船内での通信機器など様々な機器を搭載しています。艦船職域ではこれらの機器を「船体」「機関」「電気」の3つの分野に分けて管理しており、入省後はいずれかを専門として勤務します。

船体	艦船の構造部材、水・燃料等のタンク、錨、冷蔵・冷房装置、居住設備等を担当
機関	推進・発電用のエンジン、プロペラ、ボイラー、燃料移送用のポンプ・配管等を担当
電気	発電用のモーター、配電盤、電線、艦内通信装置、操艦用の制御装置等を担当

艦船武器

採用区分	国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験) ▶デジタル・電気・電子／機械／物理 国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験) ▶技術(電気・情報系、機械系)
------	--



「弾薬」だけじゃない。航海も電波も、この防衛技術で。

艦船武器の技官は、主に艦船に搭載される武器に関する機器の調達・整備の手続き、監督・検査、予算要求、施策の立案等を担当します。艦船に搭載される「武器」は、単にミサイルや魚雷などの弾薬やその発射装置だけを指すものではありません。目標を捕捉するレーダー、味方と情報を共有する通信機器、気象を把握する機器なども重要な「武器」です。艦船武器は「誘導武器」「水中武器」「通信電子」の3分野で管理され、入省後はいずれかを専門として勤務します。また、「誘導武器」「水中武器」は、弾薬と発射システムとで担当部署が分かれており、一部の技官は弾薬に関する部署にも配属されます。

誘導武器	砲・ミサイル等、水上・空中の目標に対処する武器やイージスシステム等を担当
水中武器	魚雷・ソナー等、水中目標に対処する武器や航海用機器等を担当
通信電子	他艦船・航空機・陸上施設との通信機器やレーダー等の電波関連機器等を担当

航空機

採用区分	国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験) ▶デジタル・電気・電子／機械 国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験) ▶技術(電気・情報系、機械系)
------	---



「海を空から守る」航空機に安全と信頼を。

航空機の技官は、海上自衛隊が使用する航空機の機体、電子機器、搭載武器に関する機器の調達・整備の手続き、監督・検査、予算要求、施策の立案等を担当します。部品や器材の調達手続きや予算関連業務に関わるが多く、技術的な基礎知識を活用した行政手続きが主要な業務になります。

海上自衛隊では、「海を守る航空機」として哨戒機などを保有しています。中には海上自衛隊ならではのものもあり、例えば水上の離発着が可能な飛行艇など、ユニークな航空機に関われることが魅力です。また、海中の目標を探る音響器材や機雷を取り除く掃海器材、目標の情報を伝える通信器材などを搭載した航空機もあり、いずれも任務に不可欠な装備品です。

職域の分野は、航空機、武器・電子の2つに分かれており、入省後はいずれかを専門として勤務します。

航空機	機体、エンジン、操縦系統などを担当。さらに固定翼、回転翼(ヘリコプター)で担当を分担
武器・電子	音響・光学などのセンサーに関する器材、掃海器材、通信器材、レーダーなどを担当

新領域

採用区分	国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験) ▶行政／デジタル・電気・電子／機械／土木／建築／物理 国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験) ▶事務／技術(電気・情報系、機械系、土木系、建築系)
------	--



新領域(宇宙・サイバー・電磁波)における能力の獲得と機能の強化に取り組んでいます。

私たちの普段の生活の中でGPSやインターネット、携帯電話を利用しているように、現代の軍事的な活動も、情報通信・収集・共有など様々な分野において、宇宙空間やサイバー空間、そして電磁波の利用に大きく依存しています。防衛省では、これらを新領域と呼び、陸・海・空という従来の領域の能力と組み合わせ、有機的に融合することで、各種脅威に対する実効的な抑止や対処(領域横断作戦)を行うことができるよう、能力の向上を図っています。

艦船や艦船武器等の担当として採用された職員も、希望や適性に応じてこの新領域で活躍する機会があります。

宇宙	省内及び他省庁との宇宙関連事業に関する調整/衛星通信関連事業に関する施策検討
サイバー	サイバーセキュリティの確保/システム監査等を通じたセキュリティの向上
電磁波	電磁波管理/電磁波環境の可視化/電子線能力強化に関する施策検討

施設

採用区分	国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験) ▶デジタル・電気・電子／土木／建築 国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験) ▶技術(電気・情報系、土木系、建築系)
------	--



海を守る「基盤」を支える仕事

海上自衛隊の「基盤」である基地施設(港湾、航空、陸上)の建設計画、維持管理等の業務を行っており、艦船、航空機、車両等の多様な装備を駆使した任務遂行を支えています。施設は「支える技術集団」となり、組織が全能発揮するために必要な構造物の確保から隊員の勤務及び生活の基盤を作っています。

船 体

「艦艇」としての形を作る、造船のエキスパート

海上自衛隊の艦船は戦いに備える必要があることから、独自の設計基準により建造されています。船体は、文字通り船そのものを扱う職域であり、外板や骨組み、燃料・真水などを貯蔵するタンクなどの船殻構造部を担当します。また、揚錨機や搭載艇ダビットなど自船の運用に関わる装置や、搭載航空機の運用に関わる装置など、艦船としての基本的な性能に関わる装備のほか、冷凍・冷房装置、居住設備、厨房設備など幅広く所掌します。他の職域が所掌する装備品を含めた重量管理なども担当しており、「船」の根幹を支える大事なまとめ役です。



補給本部 艦船・武器部 艦船整備課 船体整備班 整備係員



採用年度	令和2年度 一般職(大卒程度/機械)
趣味	野球観戦、ライブ観戦
好きな言葉	楽しい人には草も花



就役から除籍まで艦船の健康を支える

現在の職務内容について

全国の艦船が任務を遂行できるように修理等の取りまとめをしています。古い大型機器の換装など、多額の費用がかかる事業については予算要求をし、承認された場合は各地区が事業を遂行できるように通知することが主な業務です。

志望動機について

幼い頃から航空機に興味があり大学も航空機について学んでいましたが、そこで船にも興味が出てきました。いざ、就活が始まったらどちらの業界も捨て難く、なら両方持っているところにすればいいじゃん!と探して見つけたのが海上自衛隊です。

仕事で普段心がけていること

入隊したのが3年前、現配置には今年度から勤務しており、日常業務の中でも分からないことは多々あります。ひとりで抱え込むことはせず、少しでも不安要素があるなら上司に確認することを心がけています。

休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

野球やライブ観戦のため地方へ遠征したり、友人や家族と旅行に行ったりと遊ぶことに全力です。また、実家や姉の家が近いので家族と過ごすことも多いです。最近では3人の甥っ子がかわいくて、たくさん貢いでいます。

職場の雰囲気について

電話対応が多いため静かな職場ではありませんが、逆にそれが周りの人と話しやすくしてくれています。先輩方も話しやすい人が多く、仕事の相談からちょっとした日常の雑談までたくさん話しながら勤務しています。

海上自衛隊を目指す学生のみなさんへ

今まで先輩がいなかったため、初後輩が来るのを非常に楽しみにしております。思っているほど固い職場ではないので、機会があれば見学にもいらしてください。皆さんの就職先候補に海上自衛隊が入ることを祈っています。

機 関

大海原を航行するには欠かせない推進システムを一手に担う

船が海上を進むためには、プロペラやウォータージェットなどの推進器を使用します。そして、これらを駆動するための機関(エンジン)が必要です。海上自衛隊では、一般的な船舶にも使用されるディーゼル機関の他、ガスタービン機関など艦船特有のものもあり、多種多様な機関に関わることができます。また、燃料や潤滑油などをタンクから移送するための配管やポンプなども所掌し、艦船が「動く」ためのシステム全般を担当します。



呉造修補給所 艦船部 潜水艦科 潜水艦機関係員



採用年度	平成30年度 一般職(高卒程度/技術)
趣味	ドライブ、ツーリング
好きな言葉	モーレツからビューティフルへ



同心協力、和衷協同

現在の職務内容について

造修補給所は艦艇が無事に任務を完遂できるよう後方支援部隊として、業務を行っています。その中で私が所属している艦船部潜水艦科では、潜水艦に搭載されているエンジン等関連機器の定期的な整備・点検を検討し、検査、監督する業務を行っています。

仕事のやりがいについて

自分が担当した艦艇が無事に工事を終え、国内外で活躍する姿を見ると、自分が携わっている職務が誇りに思え、国防の一端を支えているのだと思うと、やりがいと達成感を感じます。

仕事で普段心がけていること

「初心」と「向上心」、「感謝」を忘れず仕事に取り組んでいます。どんな仕事に係るとしても、必ずどこかで誰かが支えて下さってる、仕事だからやってもらって当たり前前だと思わず、常に「感謝」を忘れないようにしています。また、分からない事は調べ、調べ切れないなら聞き、無知を恥ずかしがらず、経験、知識習得に努力を惜しまないようにしています。

休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

休日は、家族や友人、職場の方々と一緒にツーリングに出掛け、連休では九州一周などのロングツーリングから各地の名物や絶景スポット巡り、イベントや展示会などに参加しています。全国各地に転勤する機会もあり、ツーリングに出掛ければ新しい景色、新しい出会いがあり、風や自然を感じる瞬間は非常にリフレッシュできます。

職場の雰囲気について

私の職場は世代も幅広く、自衛官の方々も同じ事務所で勤務しているため、疑問や悩みを気軽に相談でき、とても明るく雰囲気の良い職場です。休暇なども取りやすく、同じ職場の方々も協力し合って、かつ自分のペースで職務に当たることができ、働きやすい環境でもあります。

海上自衛隊の魅力・アピールポイントについて

艦艇に乗るのは自衛官の方だけというイメージが強いと思いますが、技官の方でも、護衛艦「かが」や潜水艦などに乗艦して海上運転試験に立会い、自衛官の方々と一緒に出港する機会もあります。技官の業務は多種多様であり、艦艇から航空機に関わったりと様々な業務を経験でき、自分に合った仕事を続けることができます。

電気

電気が無ければ、船なんて、ただの飾りです

艦船を動かすには電気が必要不可欠です。艦船に搭載されている様々な機器のほとんどは、電気がなければ、「部屋が真っ暗」「前に進めない」「味方と通信できない」「目標を見つげられない」「大砲を撃てない」など、その役割を果たすことができません。電気を作り、それぞれの機器の役割に応じて、艦船の隅々まで適切に配電・制御し、大動脈となり当たり前のように艦船を動かす。この当たり前の日常を維持・管理していくための役割を担うのが電気の担当です。



海上幕僚監部 装備計画部 艦船・武器課 艦船管理室係員



採用年度
令和元年度 一般職(大卒程度/電気・電子・情報)
趣味
将棋
好きな言葉
行雲流水



艦艇建造に関する業務の一翼を担う

現在の職務内容について

私は海上幕僚監部装備計画部艦船・武器課で、艦艇建造に必要な予算の要求を担当しています。財務省に予算の必要性を説明するための資料を作成しています。

志望動機について

以前から護衛艦や潜水艦に興味があったので、海上自衛官として艦艇に乗りたいと考えていました。自衛官の採用を担当している広報官から、技官という艦艇の技術(建造や修理)に関わる職域があることを聞いて、海上自衛隊の技官を志望しました。

仕事で普段心がけていること

担当している業務を終わらせるのに必要な時間を考えて、一日のやることリストを毎日作成することにより、効率的に仕事をすることを心がけています。また、わからないことをそのままにせず、考えたり調べたりして、それでもわからないときは、上司に相談しています。

職場の雰囲気について

職場の人たちは仕事に意欲的に取り組んでいます。困ったときはお互いに助け合って、問題を解決しています。上司のワークライフバランスへの意識が高いため、休暇が取りやすく、定時に帰りがしやすい雰囲気です。

これまでの勤務で印象に残ったエピソード

艦艇の修理に関わる仕事をしていて、出港中の艦艇が故障するトラブルがありました。その際、艦艇の任務に影響が出ないように、乗員と連携して故障原因を調査し、洋上の艦艇に必要な部品を届ける業務調整をしたことがあります。トラブルを解決できたことが嬉しく、やりがいを感じました。

海上自衛隊の魅力・アピールポイントについて

周囲を海で囲まれた日本の防衛にとって、海上自衛隊の艦艇は重要な装備品の一つです。技官は技術と知識を活用して、艦艇の性能維持や建造に関わる仕事ができます。

誘導武器

ミサイル、大砲で目標に対処する、無双の戦闘指揮システム!

誘導武器は、砲やミサイルなどの発射装置や射撃を管制するシステムなど自衛艦として機能するために欠かせない装備品を担当します。また、関係するプログラムのアップデート等の管理も行います。いざという時に不具合なく作動し、様々な事象に対処できるようにするためには、ハード、ソフトの双方が整っている必要があり、普段からの維持整備はもちろん、時代の進歩に合わせた性能の向上なども重要な仕事です。



呉造修補給所 武器部 誘導武器科 誘導武器係員



採用年度
令和元年度 一般職(高卒程度/技術)
趣味
カードゲーム、サウナ
好きな言葉
百折不撓



国防を担う影の存在

現在の職務内容について

艦艇は常に不測の事態に備え、全力発揮可能な状態であればなりません。そのため艦艇に搭載されている誘導武器の定期的な検査及び故障時の迅速な復旧作業を実施する監督官業務を行っており、国防に貢献しています。

仕事のやりがいについて

担当する艦艇が故障した際に、現場に足を運び乗員の方と一緒に不具合探求及び原因箇所の特定をし、無事に復旧することができたときに達成感を感じると共に、乗員の方から感謝の言葉を頂いた際に、国防の一端を担っていることの誇りとやりがいを感じます。

仕事で普段心がけていること

分からないことをそのままにしない。自分で調べたり、詳しい人に質問をしたりすることで不安の解消と将来の自分のために知識を蓄えるという意識をもって業務に取り組んでいます。

職場の雰囲気について

現在の職場だけでなく、これまでの勤務地すべてを通して海上自衛隊はとても明るく活気ある職場で、皆が互いを助け合って仕事をしているため、孤独感の無いとても風通しの良い職場だと感じます。

休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

休日は、最近ハマっているカードゲームをしており、大会などにも多く参加しています。また疲れが抜けなるときなどはサウナに行き行って整うことでリフレッシュすることができ、次の日の仕事に万全な状態で臨むことができます。(サウナおすすめです。)

海上自衛隊を目指す学生のみさんへ

海上自衛隊は面白くとてもやりがいを感じるのことができる場所です。業務内容も様々で飽きることがなく、自分の性格や持っている知識に合わせた場所で国防に携わることができますので安心して海上自衛隊に入隊してきてください。皆さんと一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。

水中武器

ソーナーから航海機器まで、「水」に関わる機器を担当

艦船特有の武器である魚雷の発射装置や制御システム、相手の動きを音で察知するためのソーナー等、水中にいる目標に対処するための武器システムを担当します。また、気象・海象を観測する機器、コンパスなど航海に必要な情報を得るための機器や、海に設置された機雷の排除(掃海)のための機器も担当しています。艦船が直面する、水中や水上の様々な事象に対応するため、日々の維持整備や性能向上に尽力しています。



補給本部 艦船・武器部 武器整備課 水中武器整備班 整備係員



採用年度	平成30年度 一般職(高卒程度/技術)
趣味	フットサル
好きな言葉	一期一会



すべては部隊のために 己を知れ

現在の職務内容について

私の現在の職務は、全国に在籍する護衛艦、掃海艦などの水上艦艇に搭載する航海に関する装備品の整備や艦艇が保有する磁気を管理(計測・消磁)する装置の整備、その維持整備に必要な国家予算を要求する職務を担当しています。

志望動機について

官庁訪問で海上自衛隊の説明会に参加した際、護衛艦だけでなく、潜水艦及び航空機等もあり、職種も多く自分に合った仕事があると感じました。また、海洋国家である日本の国防に貢献したいと思い志望しました。

仕事で普段心がけていること

担当する装備品について知識を深めることに努めています。私が所属する補給本部は、近くに海がないことから護衛艦等の艦艇部隊を現場で直接見る機会が少ないため、主に書類や図面データで関係者から専門的な情報を取り入れるよう心がけています。

休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

友人と美味しいご飯屋さんに行ったり、家にいる時は映画やドラマを見たりしながらリフレッシュしています。また、夏季休暇等の際は年休を取得し、長期間リフレッシュしています。

職場の雰囲気について

明るくアットホームな場所です。周りの先輩方も優しく、自分から分からないことがあれば相談しやすい環境です。また、昼休みになればグラウンドでサッカーしたりしてコミュニケーションの場が広がり、日々楽しく勤務することができています。

海上自衛隊の魅力・アピールポイントについて

海上自衛隊のイメージは前線で国防を担っている艦艇部隊を想像する方が多いと思いますが、24時間活動する艦艇部隊の任務遂行には、部品供給やメンテナンスなどの後方支援が必要で前線を支え国防に貢献できる魅力的な仕事だと思っています。

通信電子

通信機もレーダーもネットワークも
これがないと現代の艦船は成り立たない

現代社会では仕事でも生活でも通信能力や情報収集能力が不可欠であり、艦船も例外ではありません。遠い海の上でも必要な情報を得られるよう、衛星などを経由した音声・データ通信に関する機器を多数搭載しており、通信電子の職域では様々な通信機器を担当しています。また、水上や空中の目標の位置を捕捉するためのレーダーや、情報収集に関する機器も担当し、日々進化していく通信インフラを地上からも支えています。



舞鶴造修補給所 武器部 通信電子科 電波係員



採用年度	令和4年度 一般職(大卒程度/電気・電子・情報)
趣味	温泉巡り、カフェ巡り
好きな言葉	一期一会



船の声を聴く仕事

現在の職務内容について

私が所属している通信電子科では艦艇に搭載されているレーダー等、通信関連機器の整備を担当しています。艦艇が任務へ赴く際、最大限能力を発揮できるように日々修理や検査の業務調整を行っています。

志望動機について

大学で情報通信分野を専攻しており、そこで培った専門知識や技術を活かせる仕事がしたいと思い志望しました。事業規模、予算規模が非常に大きく、国防の一端を後方から支えることができるため責任感を持って仕事に取り組んでいます。

仕事のやりがいについて

艦艇が任務中・出港中のときにも装備機器が故障することがあります。このような緊急時でも早急に対処でき、乗組員の方から感謝の言葉を貰ったときに一番やりがいを感じます。

仕事で普段心がけていること

仕事をする中で、通信やネットワークに関する専門用語が頻繁に出てきます。分からないことに関してはその場で質問することもあります。自分でも通信やIT関連の勉強を主体的に行い、一日でも早く先輩方に追いつけるよう努力しています。

海上自衛隊の魅力・アピールポイントについて

職務上、護衛艦や自衛隊の通信施設など、一般的には入れない場所で業務を行うこともあります。この非日常的な環境で日々刺激を受けながら仕事ができるのは、防衛技官の特権だと感じます。また、国家公務員ならではの福利厚生や手当が充実していることも魅力の一つです。

海上自衛隊を目指す学生のみなさんへ

一口に防衛技官と言っても、職種としては非常に幅広くあります。将来のキャリアプランを考えながら様々な職種を経験することもできるため、自分の得意分野を活かせる領域が必ずあると思います。みなさんと一緒に働けることを楽しみにしています!

弾薬

調達、保管、搭載、維持整備 ~ 弾薬は「持っているだけ」じゃダメ!

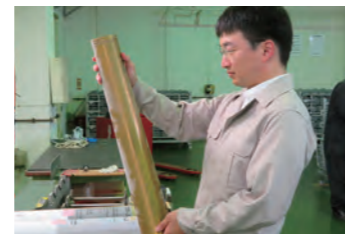
海上自衛隊で使用する弾薬には、誘導弾(ミサイル)、砲銃弾、魚雷など様々な種類がありますが、ただ持っているだけでは使用できません。適切な温度や湿度で保管し、また、使用するために一定の整備を行う必要があります。弾薬の担当は、搭載の計画や訓練などにおける使用予定を考慮しながら在庫を管理し、調達や維持整備などに関する手続きを行っており、艦船や航空機の運用に直結する大事な仕事です。



佐世保弾薬整備補給所 整備第1部 整備管理第1科 整備管理第1係長



採用年度	平成27年度 一般職(大卒程度/電気・電子・情報)
趣味	読書、サイクリング、茶道
好きな言葉	挑戦



生きた弾薬の供給

現在の職務内容について

弾薬整備補給所では、小さな拳銃の弾から、護衛艦の主砲弾、ミサイルの類に至るまで、海上自衛隊で扱う様々な弾薬の保管・整備・輸送等を実施しています。弾薬系配置の防衛技官は、主にこれら弾薬又はその整備に使用する各種機材の整備・修理について発注・監督等を実施しています。

仕事で普段心がけていること

余裕を持った仕事を心がけています。弾薬の動きは護衛艦等の行動に直接影響されるため、多少の計画変更や突発的なトラブルに対応できる余裕を常に持つようにはしています。

休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

自転車や自動車で居住地周辺を走り回っています。定期的に転勤があるため、全国各地の名所旧跡を観光し、気儘に散歩して回るのは大きな楽しみであり、転居を伴う転勤も苦になりません。

職場の雰囲気について

自衛官、防衛技官と、異なる形態の職員が集まっていますが、皆で協力し合って仕事をしており、非常に良い雰囲気の職場です。

仕事のやりがいについて

巨大な艦艇の主砲も、弾薬がなければただの重りにすぎません。決して目立つものではありませんが、各地で活動している艦艇に弾薬を供給し、日本の防衛力を支える重要な業務です。

海上自衛隊の魅力・アピールポイントについて

武器弾薬や米軍等、一般社会ではあまり接点のない相手と関わることになりますので、興味のある方には非常に面白い職場であると思います。また、技官として海上自衛隊に勤務する場合、全国に散らばる基地を数年ごとの転勤で行き来することになります。引っ越しは手間ではありますが、手当もきちんと支給されますし、各地の食や観光を楽しむことができます。

航空機

海上自衛隊で航空機? 実はたくさんあるんです!

海上自衛隊といえば艦船のイメージが強いですが、実は多くの航空機を保有しています。水上・水中の目標を監視するための哨戒機や救助を行う救難機、人や物を運ぶための輸送機など種類も多数あります。航空機には、エンジンや操縦に関する装備はもちろん、監視のためのセンサーやソーナーなど特有のものがあり、また、地上の部隊や艦船などと情報を共有するための通信器材なども搭載しています。航空機の担当は、これら航空機の機体や搭載器材の維持整備に関する手続きを所掌しており、航空機が安全かつ確実に任務を遂行する上で不可欠な存在です。



第1航空修理隊 修理部 機体科 機体系 航空技術主任



採用年度	平成30年度 一般職(大卒程度/機械)
趣味	旅行、温泉巡り
好きな言葉	初志貫徹



航空機整備のスペシャリスト

現在の職務内容について

第1航空修理隊の主要任務の一つである、哨戒ヘリコプター「SH-60K」の定期修理に携わっています。私は主に機体係員として操縦系統、ロータ(回転翼)、油圧装置などの整備(分解・検査・修理・組立)を実施しており、整備後のテストフライトでは、実際に搭乗し確認作業を行っています。

航空機の整備作業は、失敗ができない重要な仕事ですが、その反面、やりがいを持ってできる仕事です。

志望動機について

大学では、機械工学を専攻しており、専門知識が活かせる民間企業への就職を考えていましたが、海上自衛隊の基地見学をきっかけに、日本のために必死に訓練をしている姿を目の当たりにし、私も技術的な面で国防に直接関わりたいと考え、防衛技官を志望しました。

職場の雰囲気について

自衛隊ということで厳しい職場を想像されるかもしれませんが、

科員同士の繋がりが強く笑いの絶えない活気がある職場です。また、仕事上困難なことがあっても、知識も経験も豊富な上司、同僚に気兼ねなく相談できる風通しの良い職場です。

仕事で普段心がけていること

航空機整備では、小さなミスも大きな事故の原因となることがあります。だからこそ、たかがワッシャー1つ、ボルト1本だと思わず、細部までおろそかにしない慎重な作業を心がけています。

休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

休日は、関東では見られない九州の雄大な自然の中をドライブしたり、旅行先で美味しい郷土料理や温泉巡りを楽しんだり、心身ともにリフレッシュしています。

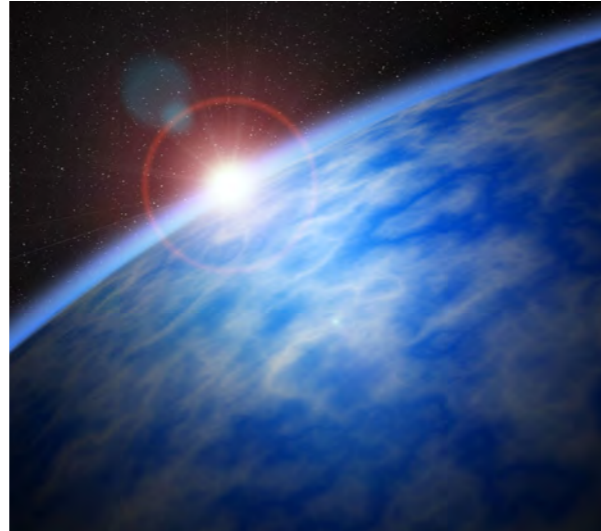
海上自衛隊を目指す学生のみなさんへ

海上自衛隊では、多種多様な部隊や職域があります。一般では触れることのできない航空機や艦艇の整備に直接関わることができるのは海上自衛隊の技官の特権です。自分の持っている知識や技能を日本の国防に活かしてみませんか。

宇宙領域における任務

情報収集、通信、測位等のための人工衛星の活用は領域横断作戦の実現に不可欠です。宇宙空間の安定的利用のため、技官は以下の任務に従事します。

- 1 関係機関等との宇宙関連事業に関する調整
- 2 衛星関連事業に関する施策検討
- 3 将来衛星に関する技術動向調査
- 4 衛星通信回線等の調達



中央システム通信隊 運用科
衛星通信運用統制班
衛星通信監視専門官

採用年度 令和3年度 選考
趣味 自然の中を散歩
好きな言葉 大山鳴動して鼠一匹

星の声で世界を繋ぎ、きらめきで未来を照らす

現在の職務内容について
「星の声」つまり衛星通信を監視しています。衛星通信は海上で行動する艦艇にとって僚艦や陸上との重要な連絡手段です。常に宇宙空間を含めた気象や他の通信が衛星通信に影響を与えていないか監視しています。

海上自衛隊の魅力・アピールポイントについて
衛星通信は古くて新しい分野です。「宇宙」「サイバー」「電磁波」といった「新領域」と呼ばれる先端分野だけでなく、無線通信といった従来の技術分野も密接に係わりますので、様々な分野の技術に携わることができます。

仕事で普段心がけていること
通信で障害が発生すると影響は全部隊に及びます。だからこそ問題が小さいうちに関係各所へ連絡や処置を行うことで「大騒ぎしている割には小さな障害で済んだ。」つまり「大山鳴動して鼠一匹」で済むよう心がけています。

仕事のやりがいについて
衛星通信は海上自衛隊の神経そのものです。艦艇が洋

上で得た情報を頭脳である本部へ伝達する、逆に本部の命令を艦艇へ伝達するための神経です。

海上自衛隊の神経である衛星通信を途切れることなく提供する、その重要な任務に従事できることにやりがいを感じています。

志望動機について
前職は通信会社で20年ほどサーバ系や通信系の設計、構築、維持等を担うシステムエンジニアをやっていました。民間企業では通常関わることのできない新領域、特に衛星通信分野へ携わりたいと思い、海上自衛隊を志望しました。

海上自衛隊を目指す学生のみなさんへ
宇宙領域は衛星コンステレーション、HAPS等新技術だけでなく、無線通信といった古い技術も複雑に織りなす分野です。柔軟な発想を持つ皆さんと一緒に、古くて新しい宇宙領域を開拓できる日を楽しみにしています。

サイバー領域における任務

サイバー領域を活用した情報通信ネットワークは、様々な領域における自衛隊の活動の基盤です。これに対する攻撃を未然に防止し、または効果的に対処するため、技官は以下の任務に従事します。

- 1 情報システム及び装備品に対するサイバーセキュリティの確保
- 2 情報保証監査等を通じた、セキュリティの向上
- 3 サイバー人材の管理



保全監査隊 通信監査科
システム監査班係員

採用年度 平成26年度
一般職(高卒者・技術)
趣味 温泉・山登り・ラーメン
好きな言葉 なるようになる

海上自衛隊サイバー防衛の最前線!

現在の職務内容について
海上自衛隊の艦艇・航空機に装備されている各種システムをサイバー攻撃から守るため、セキュリティ上の脆弱性が無いかの調査を行っています。そのため、通常のオフィスで行う、デスクワークに加えて、現場である艦艇等にも足を運んで調査することもあります。

仕事で普段心掛けていること
セキュリティの調査等に際しては、実際に稼働しているシステムを触ることもあるため、誤った作業によって重要なシステムが停止してしまうこともあり得ます。そのため、複数人で確認するなど、ミスが無いように心がけています。

職場の雰囲気について
サイバーは非常に幅広く奥が深い世界であるため、一つの業務を行うためにも、チームとして複数人の知識や

能力を持ち合わせて協力する必要があります。そのため、隊員間のコミュニケーションも活発で、お互いに助け合う雰囲気がある良い環境だと実感しております。

仕事のやりがいについて
海上自衛隊のサイバーセキュリティ部隊として、サイバーセキュリティの最前線で実際に手を動かす業務のため、海上自衛隊が運用している艦艇や航空機をサイバー攻撃から守っているという実感があり、非常にやりがいがあります。

印象に残ったエピソード
陸上自衛隊通信学校で行われるサイバー共通教育において、サイバーの基礎知識を学ぶことができたのは貴重な経験でした。サイバー関連の部署に配属されるのが初めての私にとっては、本研修で得たものが今の仕事を上での基礎となっています。

電磁波領域における任務

電磁波領域の優越は、領域横断作戦の実現のために必要不可欠な要素です。そのため、技官は以下の任務に従事します。

- 1 電磁波に係る情報管理
- 2 関係機関との周波数割当に関する調整
- 3 電磁波作戦能力強化に関する施策検討
- 4 電磁波領域関連事業の予算要求、調達
- 5 国内外における電磁波関連技術の情報収集



海上幕僚監部 指揮通信情報部
指揮通信課
電磁波情報管理専門官

採用年度 平成26年度
一般職(大卒程度・行政)
趣味 筋トレ
好きな言葉 自由

電磁波の見える化

現在の職務内容について
電磁波と聞くと難しく思えるかもしれませんが、携帯電話・Wi-Fi・車両の衝突防止レーダーなど、私生活でも当たり前のように使用されています。海上自衛隊においても、電磁波の利用は切っても切り離せない関係になっています。そのため、適切に電磁波を利用できるよう、電波環境を把握するためのシステム・装備に関する予算要求を行っています。

仕事で普段心掛けていること
電磁波は目に見えないものですので、捉え方が人それぞれです。皆が同じ方向を向いて仕事をしなければ良い結果は生まれませんので、周囲の方々が今のように考えているかよくコミュニケーションをとりながら業務を進めています。

休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について
子育て中ですので、家族と一緒に過ごしているとあっと

いう間に時間が過ぎてしまいます。各種ワークライフバランスの制度と休暇を併用し、子どもとの時間を大切にしています。

職場の雰囲気について
子どもが小さいため、急に休暇を取ってしまうことが多々あるのですが、快く休暇を取らせていただいております。育児と仕事の両立を図りやすい職場環境です。

仕事のやりがいについて
電磁波に関する業務は新しい取組みなので、何事も新規開拓からはじまることが多いです。大変なこともありますが、立ち上げ時点から業務に関われるため裁量も大きく、やりがいを感じています。

印象に残ったエピソード
電磁波の分野では、技術の移り変わりが激しいです。それに対応するため、公務員でありながらもベンチャー企業のような働き方をしている文化があることに驚いています。

施設

海上自衛隊の施設は港湾から飛行場まで携われる稀有な職種です

施設の誕生から解体まで、海上自衛隊に求められる性能を保持し続ける



- ・運用に必要な機能要件等の整理
- ・配置計画(ゾーニング)の策定
- ・必要な性能の検討
- ・建設等予算の要求
- ・設計図案と部隊要望の整合確認及び調整
- ・建設工事に係る防衛局及び運用部隊への連絡調整

- ・建築保全体制の整備
- ・工事発注に係る設計・図面等の作成
- ・監督又は完了検査業務の実施
- ・国有財産の維持管理に係る諸手続き



海上幕僚監部 防衛部 施設課 建設班係員



採用年度
令和元年度
一般職(大卒)建築

趣味
ゲーム、音楽鑑賞

好きな言葉
為せば成る



安心して勤務・生活できる環境を支える

現在の職務内容について

海上自衛隊が保有している、建物や土地などのいわゆる国有財産の管理をしています。また、海上自衛隊として、必要な施設の建設や土地購入について、予算要求資料の作成などの業務に従事しています。

志望動機について

もともと、防衛省への入省を希望しており、省内の説明会の中で海上自衛隊の施設職の方から「建物を使用している部隊の要望を直に聞いて、それを叶えられるように工事を進めていくことができるのは海上自衛隊でしかできない」という話を聞いて、業務のやりがいを感じ、格納庫や港湾の工事に興味があった為、海上自衛隊を希望しました。

仕事のやりがいについて

施設の建設や土地購入の予算要求では、普段目にするような大きな額を自ら要求することに不安を感じることもありますが、同時に大きな責任と自分が国防の一端を担っているということを日々実感できる環境で仕事ができるので、とてもやりがいを感じています。

これまでの勤務で印象に残ったエピソード

以前、横須賀で勤務していた時に、老朽した公務員宿舎の内装工事を自ら作成した発注図面を基に、工事着手から工事完成までを監督する業務の担当をしました。完成後、入居している方から、「綺麗になって、よかった。ありがとう。」と感謝の言葉を頂いたとき、工事の調整など、大変なことはありましたが、達成感が湧きました。

海上自衛隊の魅力・アピールポイントについて

工事の図面を自ら作成して、完成まで担当できるのは、他の機関ではあまりできない経験なので、海上自衛隊の魅力の一つです。また、業務以外に休暇が取りやすいのも魅力であると感じています。基本土日はお休みで、お盆と年末年始は長めの休暇を取ることができるので、余暇を有意義に過ごすことができます。

海上自衛隊を目指す学生のみなさんへ

施設に関する業務は縁の下の力持ち的な存在です。何をしても、土地や建物は必要不可欠です。隊員の勤務環境、生活環境を支える大きな役割が施設の業務にはあります。海上自衛隊で働く約4万5千人、その家族が安心して働き、生活ができる基盤を支えるやりがいを感じながら、一緒に働いてみませんか？

防衛技官の1日

海上自衛隊の防衛技官は、護衛艦等の近くで監督官を行う現場の仕事や、護衛艦・航空機の調達・維持のための予算要求等を行うデスクワーク等、多種多様な業務が経験できます。今回は現場編・デスクワーク編として若手防衛技官の1日をご紹介します！

現場編



横須賀造船修補給所 艦船部 電気科 大型艦電気係員

採用年度
令和元年度
一般職(高卒程度/技術)

趣味
ライブ観戦・ドライブ・カフェ巡り

好きな言葉
明日やろうはばかやろう

船の修理屋さん(電気)

横須賀に在籍する護衛艦等の艦艇のメンテナンスに関する監督業務です。主として定期・年次検査(整備)の計画や実施の監督、装備品故障時の修理・調整を行っています。装備品の故障には任務対応のために速やかな対応を求められることもあります。ただ、無事に修理を終えた艦艇の出港ラッパを聞くと艦艇の可動率向上に貢献している実感が湧き、やりがいを感じます。

デスクワーク編



補給本部 艦船・武器部 武器整備課 通信電子整備班 仕様係員

採用年度
令和3年度
一般職(大卒程度/電気・電子・情報)

趣味
バイク、映画鑑賞

好きな言葉
日進月歩

全国の部隊の能力維持のため全力を尽くす!

補給本部では、海上自衛隊が保有する設備・機器の整備・修理等の予算を要求しています。さらに成立した予算を使用して執行される維持整備等の管理も補給本部が担当しています。また、全国の艦艇等の故障状況を把握し、技術的な知識・経験を用いて修理方針の調整や指示、上司等へ報告することも補給本部の仕事です。補給本部は業務の規模が大きく、自らの仕事で国防へ影響を与えるため、責任は伴いますが達成感も大きいです。

1日のスケジュール (参考)

時間	内容
8:00	出勤・メールチェック 整備会社の担当から艦艇の定期・年次(整備)検査の工事進捗状況及び不具合箇所の情報がないかを確認
8:30	整備会社から状況報告 工事進捗状況の細部について整備会社(造船所及び専門業者)から報告を受ける。以後の予定や処置方針について担当者調整する。
8:45	造船所にて検査の立会 造船所に行って、艦艇のメンテナンス状況の確認を行うため検査や試験に立会う。
10:00	艦艇での修理要望の現場調査 艦艇からの定期・定期・年次検査(整備)での修理要望について、装備品等実機を確認する。その際に、乗員とどのように処置するか調整し、乗員整備の方法等について指示する。
12:00 【昼休み】	お昼休み 自分で作ったお弁当でエネルギーチャージ
13:30	現場調査の結果に基づき仕様書の作成 現場調査の結果から工事内容を予算の範囲内で整備できるように仕様書を作成。完成次第、整備会社へ見積り依頼。
16:00	作成した調達要求書を経理部門へ提出 修理の契約を行うために経理担当と調整
16:45	退庁 何も無い日は定時退庁!
17:30	自宅の近くでホットヨガ 健康維持・ストレス解消のため、ホットヨガ




1日のスケジュール (参考)

時間	内容
8:30	出勤・日例会報 全国の艦艇等の故障状況について、上司等へ所掌分野ごとに報告します。早く出勤して作業する必要がある場合は、フレックス制度を活用します!(遅く出勤する日もあります)
10:00	事業調整 担当している事業の執行状況を把握します。部隊や整備会社と綿密な情報共有を行い、適切な予算執行に努めます。
11:00	事業の資料等作成 来年度の予算確保のため、担当している事業の説明を度々求められます。資料作成や事業説明を通して、来年度の事業の予算を最適化していきます。
12:00 【昼休み】	食事・休憩 駐屯地内にある食堂やコンビニ、お弁当で食事をとります。午後からの勤務に向け、ゆっくり休憩します。
13:30	事業調整 全国の部隊と連携し、事業について調整を行います。実際に部隊が必要としている修理や機器交換を行うために、部隊とのやり取りを大切にしています。
15:00	全国の艦艇の状況を確認 全国の造船修補給所等と連携を取り、状態の把握、処置方針の調整、翌日の報告に備えて資料作りを行います。
17:15	退庁 何も無い日は定時退庁!フレックス制度を活用した日は、早く来た時間だけ早く帰れます!
17:30	帰宅・食事 職場の先輩方と晩飯を食べに行くこともあります。勤務地周辺は美味しいお店が多く、一日の疲れが癒されます。



キャリアパス

海上自衛隊の防衛技官は、採用区分等を考慮して、装備品等の種類に応じ各専門的な職種に配置され、それぞれの分野のスペシャリストとして養成・人事管理が行われます。




所属
航空補給処 航空機部 航空機整備課
機器管理班 機器管理係員

採用年度
平成30年度
一般職(大卒程度/電気・電子・情報)

趣味
スポーツ

私は、自衛隊に関するニュースや実際の活動を間近で見えてきて、このような方々と一緒に仕事をしたいという思いを持ち、海上自衛隊に入省しました。
入省してからは、航空機の可動機確保に直接関わる業務に従事することができ、自分も国防の一端を担っていると感じられることが業務へのやりがいとなっています。航空機だけでなく、艦船や施設といった様々な配置があり、自分に合った職種を希望できるところも海上自衛隊の強みです。



所属
第1航空修理隊 修理部長

採用年度
昭和60年度(初級・電気)

趣味
アナログゲーム

知識・技術を活かせる場として技官の道を選択しました。
入隊後は火器整備、通信電子、人事、需品、艦船・武器工作、サイバー、艦船設計等の様々な職種を経験しました。一つの専門知識を極めるということは叶いませんでしたが、代わりに広い視野と知識を得ることができたと思います。
現職では、海上自衛隊唯一のB区分整備能力(メーカー整備に次ぐ高度な航空機整備能力)を有する部隊の一員として頼もしい仲間達とともに充実した日々を送り、航空機の運用に貢献できていることを誇りに思っています。





所属
大湊造船補給所 工作部 工務科
艦船技術専門官

採用年度
18年度(Ⅲ種・機械)

趣味
ランニング

私が(当時)入庁したきっかけは、募集パンフレットから技官という職種に興味を持ち、高校で学んだ電子・機械の専門知識を業務に活用できるのでは、と思ったからです。
現在は、海上自衛隊で唯一保有する「大湊ドック」の改修に携わっています。本ドックは昭和19年から運用される艦艇の入出渠等作業に必要な重要施設であり、各種設備の状態を自分の目で確認しながら事業を進めることにやりがいと楽しさを感じつつ、自然豊かな北の地で時折見かける、かもしか等に癒されながら充実した日々を送っています。



所属
大湊地方総監部管理部 施設課
施設計画専門官

採用年度
平成7年度(Ⅲ種・建築)

趣味
卓球、テニス、山登り、スキー

自宅近くに海自の基地があり小さい頃から身近な存在でした。建築系の配置があることを身内から紹介され興味を持ち、学んできたことを活かした実務経験ができると思い(当時)入庁しました。
これまで自衛隊施設の修繕に係る監督業務、建設の予算要求、国有財産の管理業務を経験し、現在は所轄地方防衛局や基地周辺の地元関係者と、基地の維持に必要な情報交換や交渉を行っています。地域と自衛隊が良好な関係を保つための重要な役割を担っていると日々感じながら勤務しています。

研修制度

海上自衛隊で勤務する防衛技官は、様々な装備品等(艦艇・航空機・施設等)を担当するにあたり、専門的な知識が求められますので、知識向上のために様々な教育を実施しています。
装備品等に関する知識が無くても、このような研修機会を通じて知識を習得していくことができます。

【管理的研修】

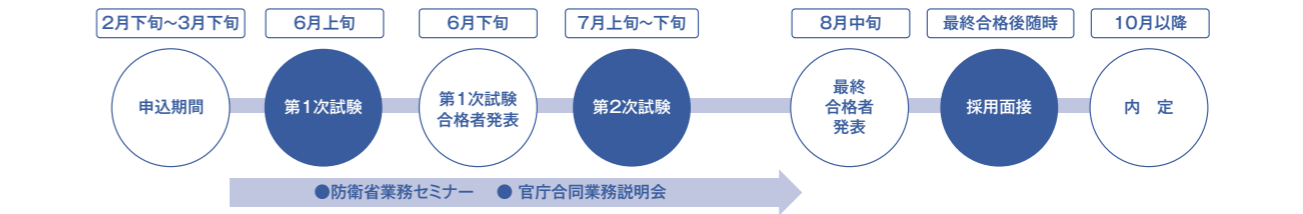
- 事務官等上級課程
- 事務官等中級課程
- 一般職・専門職員採用者初任特別講習

【専門的研修】

- 特修科艦船整備課程
- 航空電子整備課程
- 造修特別講習
- 部内委託教育(施設・サイバー)
- 航空機体整備課程
- 企業研修(艦艇・航空機・施設・サイバー)

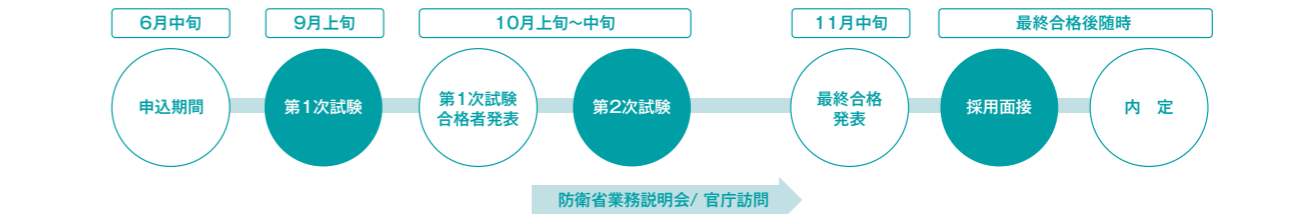
試験案内

国家公務員採用一般職(大卒程度試験)



注: 詳細な試験や官庁訪問の日程については、人事院ホームページをご参照ください。


国家公務員採用一般職(高卒程度試験)



注: 詳細な試験や官庁訪問の日程については、人事院ホームページをご参照ください。

選考採用試験

- 経験者を対象とした選考採用
- 国家公務員試験等に準ずる選考採用を順次行っています。細部は防衛省ホームページをご覧ください。



防衛省HP採用ページ

勤務条件等

給与

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。下表は、新規採用者で東京都特別区に勤務した場合の一例です。なお、各試験区分において基準となる学歴(大卒、高卒)以降の職歴は、経験年数として換算し、初任給に反映されます。

一般職(大卒程度)	行政職俸給表(一)1級25号俸の場合	235,440円
一般職(高卒程度)	行政職俸給表(一)1級5号俸の場合	199,920円

手当

- 扶養手当: 扶養親族(配偶者等)のある者に、月額6,500円等
- 住居手当: 借家居住者等に、月額最高28,000円
- 通勤手当: 交通機関等利用者に、1ヶ月最高55,000円
- その他: 超過勤務手当
- 期末手当・勤勉手当(いわゆるボーナス): 1年間に俸給などの4.5ヶ月分

勤務時間帯

- 勤務時間は1日7時間45分、原則として土、日曜日及び祝日等は休みで完全週休2日制を実施しています。

休暇等

- 休暇: 年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日、残日数は20日を限度として翌年に繰り越し)のほか、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・子の看護・ボランティア等)、介護休暇があります。

※上記の額は、令和5年人事院勧告の各種規定に基づくものです。